

令和 6 年度倫理委員会議事概要

作成者	福本 由美子
日時	2025 年 1 月 8 日（水）17:00～18:00
場所	災害対策室
出席	中谷院長、福崎副院長、廣岡副院長（倫理委員会委員長）、今津副院長（医療安全管理責任者）、瀬古看護部長、田中事務部長、千葉事務次長、伊藤千里救命救急センター長（司会進行）、澤野千里救命救急センター部長、犬飼千里救命救急センター医長（Zoom 参加）、加藤千里救命救急センター医師（Zoom 参加）、得能医療安全管理室長、赤井特定認定看護師副看護師長、荒瀬看護師長（救急看護認定看護師）、白川看護師長（看護倫理委員会）、小中救命救急看護師長、張救命救急副看護師長、菊川救命救急副看護師長、大西救命救急副看護師長、秋山主任看護師、有本主任看護師、城下主任看護師、村松薬剤師（倫理委員会）、福本（倫理委員会）
議事内容	倫理的課題に関する相談：終末期ではない患者の「緩和的抜管」について 千里救命救急センター長 伊藤裕介 当院では、終末期でない患者に対し「緩和的抜管」は行わない。ただし、医学的に抜管可能であると判断された場合は、抜管をすることができる。抜管して一日以内に呼吸状況が悪くなれば、再挿管をして気管切開する。一日状況が持てば抜管できたと判断し、その後は挿管をしない。以上を患者家族に説明し、合意を得た上で行うこととする。 また、治療方針の決定に際し「最低限必要な項目」として、以下を遵守すること。 ・終末期かどうかの判断をすること。 ・終末期でない場合は、医師は抜管の選択肢の提示をしない。 ・多職種カンファレンスの開催は必須で、可能であればご家族にも参加いただく。関係者の総意は必須とする。 ・ご家族の理解の評価は、緩和ケアチームまたは重症患者対応メディエーターで対応する。IC にはできるだけ看護師が同席し、ご家族の理解度を把握する。 ・終末期かどうかの判断には、検査はできる限り必要かつ可能な検査を行う。頭部 CT、頭部 MRI、脳波は基本的に絶対必須。 ・上記状態の中で、ご家族が気管切開を拒否される場合には、医学的に抜管可能かどうか判断をする。